

社会科の取り組み

3年生は、卒業後ほとんどの生徒が企業に入り社会人の一員として活動を始める。現代社会で今何が起きているのかを常に関心をもって考える力を身に付けられるよう新聞やニュース等から情報を収集し自分なりに分析していく力を養えるよう定期試験にも時事問題を取り上げている。しかしながら実際はそれほど関心をもって新聞から継続的に情報を収集しようとする習慣が身につけてはいない。

実際に現代社会で起こっている企業による偽装・改ざん問題を調べその問題点を取り上げ、戦後日本人が作り上げてきた高い水準での「日本の品質」が揺らぎ、国際的信用が失われつつあることを、**企業の社会的責任(CSR)**の観点から考察し、なぜこのような問題が繰り返されるのか。社会で起きている問題を新聞やニュース、インターネット等を通して調べ、これから社会人の一員として社会でどのように行動していくか考える機会として捉えたい。

1. はじめに

近年、様々な企業で偽装・改ざん問題など後を絶たない。そのような問題を調べ、なぜコンプライアンスに抵触することを知りつつも繰り返し企業ではその問題が起こるのか。実際に自分で該当する問題を取り上げ、生徒間でその背景・何が原因かなど掘り下げて考え、企業人としての行動を考えてみる。

2. 研究内容

テーマ「**企業の社会的責任(CSR)**
～**企業による偽装・改ざん問題**～

1. 新聞を準備し生徒間で手分けしテーマに沿った記事を探す。
2. スマホを活用しテーマに沿った記事を探す。
3. ステークホルダー(利害関係者)を観点にそれぞれの問題点を探る。
4. グループでまとめた問題点の発表
5. 個人の意見をレポートにまとめる。

3. 取組状況

■グループ学習では、グループによって取り掛かりに違いが見られたが、効率の良いグループは、社会・経済面を中心にテーマに沿った内容を「見出し」を中心に探し、その後「リード」を読む大まかな理解ををして「本文」で詳細な内容に触れていた。また「コラム」「社説」などから情報を得るものもいた。

■スマホを利用した場合は、様々な情報や過去の同様な情報までわかることから中にはこの事件以前に聞いたことがあるなど生徒自身が少なからず関心をもっている様子もうかがえた。



4. 成果

今回の研究を通して、以下の様な・・・

近年、企業で起きている問題は、はじめ他人事のように無関心であった生徒も、ステークホルダー(利害関係者)の中で各方面にそれぞれにスポットあて考察することで影響を及ぼしていることに気づくことができた。

またそれらの問題が発生する背景についても利益追求重視に起因するだけでなく下請け企業の多い**日本の産業構造**やシステム「**かんぱん方式**」に至るまで中には「**忖度**」などの発言もあり社会構造のあり方に問題点を挙げ、あらゆる角度から考察する生徒もいた。



5. 考察

新聞・ニュースで報道されている情報は自分には関係ないように受け取っている生徒が実際に情報を分析することで今まで気づけなかった点に気づく場面が見られた。世の中のことに興味を持つ生徒が現れたことは1つの成果であると思う。

これを機に新聞・ニュースで報道されている様々な問題の情報を数継続的に把握して習慣化していくことが今後期待するところです。

6. おわりに

生徒は最終的には技術者として企業で活躍することになりますが、本校の信条でもある「**技術者となる前に人間となれ**」の意味を考え、海外製品との激しい競争や急変する市場の中で、失われつつある日本の技術の信頼をとりもどす技術者としての担い手となること願っています。